

多世代利用総プロ（H20～22 年度）における主な研究成果

部門別の主な研究成果

I. 形成・管理システム部門

- ①多世代利用住宅（共同住宅）の住戸区画の可変性の評価手法・評価基準案の提示
- ②多世代利用住宅の適正なマネジメントのための「長期マネジメント計画」の計画内容・計画様式の提案
- ③多世代利用住宅の良好な住環境を良好な住環境を安定的に確保するための敷地条件の基準化に向けた定量的分析及び協調ルール作成の効果分析

II. 診断・改修技術部門

- ①既存共同住宅の多世代利用化に向けた目標性能水準と躯体性能の評価基準・同解説案の提示
- ②既存共同住宅の多世代利用に向けた改修及びマネジメント手法に関する技術指針の提示
- ③既存マンション（RC造中層壁式住棟）における2戸1改修の実施手法の提示

III. 管理技術部門

- ①構造ヘルスマモニタリングの利用ガイドライン
（システム構築、管理・流通へのシステム利用）

IV. 戸建て木造技術部門

- ①多世代利用住宅（新築・戸建て木造住宅）の設計・施工に関する指針の提示
- ②多世代利用住宅（新築・戸建て木造住宅）の維持管理に関する指針の提示
- ③既存戸建て木造住宅の住み継ぎ・住み替え時における対応指針の提示

V. 宅地技術部門

- ①空気注入による宅地地盤の液状化対策技術の提示
- ②既存造成宅地擁壁の老朽化診断に関する指針（目視点検調査実施要領）の提示
- ③被験者実験に基づく住宅価値の持続のための相隣環境規範の基準化に向けた分析